



2024年12月19日
イオン株式会社
イオン九州株式会社
AEON Stores (Hong Kong) Co., Ltd

九州から世界へ！「フードアルチザン（食の匠）活動」を通じて地産外消を推進

イオン香港での『熊本県産晩白柚フェア』

2025年1月16日（木）よりイオンストアーズ香港13店舗にて開催

イオンは、海外に展開する店舗を活かして日本各地の名産品を海外のお客さまにご紹介し、日本文化の発信と農産物の販路拡大に取り組んでいます。その一環として、熊本県八代地方で栽培されている世界最大級の柑橘「晩白柚（ばんぺいゆ）」を2025年1月16日（木）から1月28日（火）の期間、香港の「イオン」「イオンスタイル」等13店舗で販売します。香港での晩白柚フェアは、2015年にスタートし、今年で11回目の開催となります。



大きいものでなんと直径25cm！世界最大級の柑橘

晩白柚は直径約20cmの美しい外観と甘酸っぱい上品な香りが特長の柑橘で、八代地方が生産量日本一を誇ります。果肉は甘さと酸味のバランスのとれた爽やかな風味です。晩白柚は保存性が高く皮が柔らかくなり食べごろになるまで1ヵ月ほど保存することができます。

イオンは、日本の伝統的な食文化を伝える食材や技術を生産者の方々とともに保存、継承する「フードアルチザン（食の匠）」活動の一環として、2013年に熊本県八代市、氷川町等とともに「熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会」を設立しました。晩白柚の特長を活かした商品のPRを通じ地域活性化の支援に取り組んでいます。

香港では、日本の食が注目されていることに加え、旧正月を控えたこの時期は晩白柚ならではの大きさやきれいな黄色が「大きな福をもたらす果物」としてお客さまからご好評をいただいています。

昨年に続き、地域経済の活性化に貢献するべく、地元の八代港から香港に向けて輸出予定です。2024年12月27日（金）には出発式を行い、「香港のお客さまに熊本八代の晩白柚をおいしく食べていただきたい」との想いを込めて、地域の皆さまとともに晩白柚を送り出します。

【晩白柚出発式について】

- ◆日 時：2024年12月27日（金）15：00～
- ◆場 所：八代市役所1階 多目的ホール
及び南側玄関前（八代市松江城町1番25号）



【香港での晩白柚フェアについて】

- ◆期 間：2025年1月16日（木）～1月28日（火）
- ◆展開店舗：イオンストアーズ香港
「イオン」「イオンスタイル」等13店舗
- ◆販売数量：熊本八代産「晩白柚」（L）2,100個（3L）32個



ご参考

【イオンの「フードアルチザン（食の匠）」活動について】

フードアルチザンは
地域の産品を大切にします！



お客さまから「地域の食文化を守る活動をしてほしい」というお声をいただき、2001年から取り組んでいる活動です。全国各地で郷土の味を守り続ける生産者の方々とともに、自治体や大学研究機関の協力をいただきながら、日本の優れた食文化の継承に取り組んでいます。

2024年12月現在、1道1府28県の41品目で「フードアルチザン（食の匠）」活動を展開しています。晩白柚においては、2013年に27品目の「フードアルチザン（食の匠）活動」として協議会を設立しました。

■ 「フードアルチザン（食の匠）」活動の詳細はこちらから <http://www.foodartisan.jp/>



【晩白柚について】



熊本県八代地方は、日本三急流である球磨川（くまがわ）が流れ、西は八代海に面した平野部で、晩白柚の生産量日本一を誇ります。

昭和20年代から晩白柚の栽培がはじまり、気候風土に適していたことから昭和40年代に急速に栽培が普及しました。特に、八代市東南部に位置する高田（こうだ）地区や、北部に隣接する氷川町で盛んに栽培されています。晩白柚は八代地方を代表する特産品であり、八代市の市木に指定されております。



晩白柚の栽培では見た目と形の美しい黄色い果実を作るため、一つ一つの果実に袋がけ作業を行います。袋がけ作業は2回行われ1回は虫除けのため、もう1回は太陽光を避け美しい果皮を保つために行います。初夏から真夏の炎天下で行われるため大変な重労働となります。

生産者の皆さんはより良い晩白柚を作るため、一つ一つの作業を丁寧に行っています。

以上